

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス 榎		2025年 1 月 30 日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	8	0		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	0	視覚支援を取り入れ、分かりやすい環境作りを行っています。また、各部屋の役割を明確にしておき、ルールについての掲示物を張る等の視覚支援を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	0	間仕切りなどを使用しています。朝のミーティングでその日の個室計画を立てスタッフ全員に周知しています。また、その時の子どもの様子を把握し、適宜個室を提供しています。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	0	榎はまだ第三者評価を受けた事はないですが、受けた事業所で指摘された点や反省等を聞き、自施設の業務改善に繋げています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8	0	職員の専門性を高める為に随時、研修に参加しています。	今後も職員の専門性を高める為に、積極的に研修に参加していきます。
適切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8	0	作成・公表に向けて準備しています。	現在、作成しています。早急に、公表できるよう準備を整えて参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8	0	面談を通じて、利用者様や保護者様のニーズを聞き取るようにしています。その上で、スタッフ全員で客観的な視点で分析を行い、個別支援計画に反映させています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8	0	気になったことなど、些細と思われることも合わせて共有を行い、その情報を元に、支援員間でどのような支援が必要か検討をしています。支援会議に全てのスタッフが参加し、共通認識を持てるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		8	0	ヴァインランドやSM社会生活能力検査などを用いたり、日々の様子を確認しています。また、自立度チェックなどを用いて確認を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		8	0	専門職員を中心に子どもたちの現状を踏まえて、活動プログラムの立案を行っています。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	利用者様の課題、実態に合わせて、活動プログラムの立案を行っております。楽しみながら、力がつくような活動を考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	議事録を作成しながら、一日の共有事項を振り返っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎日議事録を記入しています。終礼でどんな支援が良かったのか、適宜振り返って確認、話し合いをしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	6か月を目途に行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	利用者様の最善の利益を考え、医療、福祉等、関係機関とこまめな情報共有を行い、必要に応じて、関係者会議を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	8	年齢的に該当する児童がいないが、中学校との情報共有は行なっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	地域で行われる研修の共有を受けています。また地域外ではあるが、適宜、臨床心理士のスーパーバイズを受けています	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	イベントでの出店を通して、広い交流、関わりを持っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		現在は、会社の代表者のみの参加となっております。今後は、事業所の代表者が参加していく予定です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約の際に、説明をさせて頂いております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じて、面談、電話での対応をさせて頂いております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8	0	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的にSNSを通して、活動内容や、子どもたちの様子を発信しています。月毎に公式LINEを用いて行事予定を発信を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	会社としてエンジョイ祭りを開催し、広く事業所の活動を知ってもらう機会があります。また、公園外出等で、地域の人と関わる機会を設けています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	服薬情報や、アレルギー情報は、しっかりと確認を行い、変更があった際には、全職員にその旨を共有しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットが生じた際には、スタッフ同士で共有を行い、再び同様のケースが起きないように今後の対策を検討しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に社内で開催されている虐待防止委員会を中心に研修を受けたり、日々の支援の振り返りを行ったりしています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		